

21世紀の男たちへのメッセージ

～男たちよ 恥ずかしがらず本音で語ろう～



【話し合いの風景】

「男女共同参画社会」実現のためには、女性だけではなく、そのパートナーになる男性の意識改革なくしては、成し得ない…。そうした目的意識を持って、男性側の視点から取り組みたい。おとこの生活塾・大分のみなさん、世代や職業の違いを越えて、本音の話をしています。お伺いした日は「いい子」について、意見交換がなされていきました。

団塊世代が育てられてきた時代の「いい子」

A 男の子は「口答えするな。言い訳するな。弱音を吐くな。強く逞しく。」と、社会でも家庭でも言われ続けて育った。

B 「いい子」を演じているために冒険が出来なかった。
A 集団の中の「和」を大切に
する世代でもあったね。

いい子のタイプと反抗するタイプがいた

C 「いい子」ばかりではなく、学生運動にのめり込んだり、管理職に反発したりする者もいた。

D 正しいから主張するのが当たり前だと考えて、行動していた時代があった。しかし、正しいからと主張しても、結果的には孤立してしまう。それだけでは駄目だと気づいた。
E 果たして、誰（家庭・社

会・自分）にとって自分は「いい子」であろうとしてきたのか？過去の自分を振り返り、考え、みんなで話し合っていく過程において、次世代へのメッセージも見えてくるのではないだろうか。

私たちが置かれている現状は

F 何も言えないのは女性だけだと思われがちだが、実は男性の多くも本音で話を出せないまま生きてきた。男性は、自分をアピールする方法を見つけれずに育ってしまった。

男性の視点から考える場所の拡大には

B 今、男性は家庭や社会の中で悩み、自分には自由がないと感じている。家庭でも居場所がないために、日曜のゴルフ、外でのお酒ということになってしまふ。
H 私たちがはめられていたような「いい子」の枠を取り払い、「おかしいことはおかしい」と言える、自己決定の出来る子どもが育つ環境が重要。男性の視点からも、そんな環境を学校や家庭に作りたい。

おとこの生活塾・大分

場所	コンパルホール
日時	毎月第3木曜日(原則) 19:00～21:00
代表世話人	東本高志
電話	097-545-4208
e-mail	taka.h77@basil.ocn.ne.jp
出前	ご要望があれば、各地でディスカッションいたします。

先日は城南中学校にて、PTA役員、会員、教師、地域の人や他校のPTA関係者など、約70名が参加する中、「親と子の関係、地域と学校の連携、父親のPTA参加や家事、子育ての関わり方はどうあるべきか」を話し合いました。